

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【公表番号】特表2010-509345(P2010-509345A)

【公表日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-012

【出願番号】特願2009-536348(P2009-536348)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/27	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	25/14	(2006.01)
A 6 1 P	25/16	(2006.01)
A 6 1 P	21/02	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
C 0 7 K	7/06	(2006.01)
C 0 7 K	7/08	(2006.01)
C 0 7 K	14/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/36
A 6 1 P	25/00
A 6 1 P	25/28
A 6 1 P	25/14
A 6 1 P	25/16
A 6 1 P	21/02
A 6 1 P	9/10
A 6 1 P	3/10
C 0 7 K	7/06
C 0 7 K	7/08
C 0 7 K	14/00
Z N A	

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月17日(2010.9.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

神經細胞障害に罹患する動物において神經細胞障害を軽減するための医薬組成物であつて、前記障害を軽減するために十分な量の、配列番号：1～142から構成される群から選択されるアミノ酸配列を有するポリペプチドである運動ニューロン栄養因子(motoneurononeurotrophic factor: MNTF)類似体、またはかかるポリペプチドの塩を含む、医薬組成物。

【請求項2】

前記障害が、脊髄傷害、神經変性疾患、脳虚血、ハンチントン病、パーキンソン病、多発性硬化症(multiple sclerosis: MS)、筋萎縮性側索硬化症(a

myotrophic lateral sclerosis : ALS)、アルツハイマー病、および糖尿病性神経障害からなる群から選択される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記障害が脊髄傷害である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記障害が神経変性疾患である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記障害が脳虚血である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記障害がハンチントン病である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記障害がパーキンソン病である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記障害がM S である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

前記障害がA L S である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記障害がアルツハイマー病である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記障害が糖尿病性神経障害である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記M N T F 類似体が、配列番号：1～7 から構成される群から選択されるアミノ酸配列を有するポリペプチドであるか、またはかかるポリペプチドの塩である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記M N T F 類似体が、配列番号：1 の 6～33 個の連続する残基のアミノ酸配列を有するポリペプチドであるか、またはかかるポリペプチドの塩である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記ポリペプチドが、配列番号：4 の少なくとも 6 個の連続する残基を含むアミノ酸配列を有する、請求項 13 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

前記ポリペプチドの前記配列が配列番号：2 を含む、請求項 14 に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

前記ポリペプチドの前記配列が配列番号：3 を含む、請求項 14 に記載の医薬組成物。

【請求項 17】

前記ポリペプチドの前記配列が配列番号：1～7 のうちの 1 つである、請求項 14 に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

前記M N T F 類似体が、配列番号：1～142 から構成される群から選択されるアミノ酸配列を有するペプチドの類似体であって、M N T F の活性を示す類似体であるか、またはかかる類似体の塩である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 19】

前記M N T F 類似体が、配列番号：1～7 から構成される群から選択されるアミノ酸配列を有するペプチドの類似体であって、M N T F の活性を示す類似体であるか、またはかかる類似体の塩である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 20】

非経口経路によって前記動物に投与される、請求項 1 の医薬組成物。

【請求項 21】

前記MNTF類似体が、前記動物に静脈内投与される、請求項1の医薬組成物。

【請求項22】

前記MNTF類似体が、配列番号：1の6～33個の連続する残基のアミノ酸配列を有するポリペプチドの類似体であるか、またはかかるポリペプチドの塩である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項23】

前記動物が哺乳類である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項24】

前記動物がヒトである、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項25】

動物において損傷した神経経路を修復するための医薬組成物であって、前記経路を少なくとも部分的に修復するために十分な量の、配列番号：1～142からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するポリペプチドであるMNTF類似体、またはかかるポリペプチドの塩を含む、医薬組成物。

【請求項26】

損傷した神経経路を有する動物において運動機能を向上させるための医薬組成物であって、前記動物において運動機能を向上させるために十分な量の、配列番号：1～142からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するポリペプチドであるMNTF類似体、またはかかるポリペプチドの塩を含む、医薬組成物。

【請求項27】

損傷した神経経路を有する動物において神経経路を再生するための医薬組成物であって、前記動物において前記経路を再生するために十分である量の、配列番号：1～142からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するポリペプチドであるMNTF類似体、またはかかるポリペプチドの塩を含む、医薬組成物。

【請求項28】

動物における神経細胞の欠損を軽減するための医薬組成物であって、前記神経細胞の欠損を軽減するために十分である量の、配列番号：1～142からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するポリペプチドであるMNTF類似体、またはかかるポリペプチドの塩を含む、医薬組成物。